

救急特集

鶴居消防署から情報を皆様のもとへ



X (旧Twitter)



Instagram

救急車はいつ呼べばいいの？

Challenge 予防救急とは何ですか？

救急車で搬送されるような病気やケガの中には、日常のちょっとした心がけで防げるものがあります。

救急車を呼ばなくてはならないような病気やケガを未然に防ぐために、日ごろから気を付けるポイントを知り、意識して行動することを「予防救急」といいます。



出典：総務省消防庁

全国救急受診アプリ 通称：Q助

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択すると、「今すぐ救急車を呼びましょう」「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」などの必要な対応が、緊急性をイメージした色とともに表示されるアプリです。消防庁HP、またスマートフォン版は「App Store」で「Q助」上ダウンロード可能です。



総務省消防庁
Q助ダウンロードサイト



Pickup!

救急車が必要な時はどんな時？

急な病気やケガをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか迷うことがあると思います。緊急性の高い症状があるときは、すぐに救急車を呼ぶ必要があります。緊急性の高い症状を紹介しますので、このような症状があった場合は迷わずに「119」番通報して救急車を要請してください。「突然の激しい頭痛や胸の痛み」「呂律が回らない」「体がしびれて動けない」「視界が遠のく」「激しい腹痛」など。



出典：政府広報オンライン「もしものときの救急車の利用法」どんな場合に、どう呼べばいいの？

Check✓

鶴居村の救急搬送の現状について

近年、全国的にも救急件数が増加しております。件数の約半数が医療機関にて「軽傷」と診断されております。鶴居村には救急車が2台しかありません。適正利用によって、本当に救急車を必要とする人の命を救うことに繋がります。過去4年間の救急車搬送人数は下記のグラフのとおりとなります。軽傷者の割合は約半数となっておりますが、救急講習の際に、救急車の適正利用について呼び掛けて軽傷件数の減少を図っております。

